



7月13日、4年生は総合的な学習の時間に、手話サークル「四季の会」の皆様をお招きし、手話や聴覚障がいについて学びました。

聴覚障がいのある方からは、手話を交えながら、日常生活での工夫や困っていること、そして私たちへのお願いについてお話いただきました。子どもたちは真剣な表情で耳を傾け、一人一人が理解を深めることができました。

お話の後には、手話クイズに挑戦しました。手話やジェスチャーで表現された内容から、何を伝えようとしているのかを考え、楽しみながら学習することができました。

最後には、「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」などのあいさつの手話や、自分の名前の表し方を教えていただきました。学習の終わりにお礼を伝える際には、子どもたちは、早速教わった手話で拍手や「ありがとうございました」を表し、感謝の気持ちを伝えていました。

今回の学習を通して、子どもたちは手話に親しむとともに、互いを理解し合うことの大切さについて考える貴重な機会となりました。